



SKK  
SUPERIOR  
MATERIALS

UNDER SURF DS

# アンダーサーフDS

一液水性架橋型サーフェーサー

意匠性仕上塗材等の厚膜型弾性塗材の塗り替えでは、従来から様々な工法が用いられていますが、シーラーを用いた工法では、表面に発生したひび割れや吸い込みムラにより、仕上りに不良が見られたり、また、無機系のフィラーで下地調整をする場合は、厚塗りとなるため既存パターンを活かす仕上げができないなど、必ずしも満足のものではありませんでした。また、断熱性の高い下地に施工された厚膜型弾性塗材の塗り替えでは、劣化した旧塗膜の影響や洗浄後の乾燥不足など各種要因が重なり、不具合を生じることがありました。

これらの問題を解決するのが、強靱性と高い透湿性を兼ね備えた一液水性架橋型サーフェーサー「アンダーサーフDS」です。アンダーサーフDSは、RC下地は勿論のこと、断熱性の高い下地に施工された意匠性塗材の本来の意匠を活かす塗り替えに最適です。

## 特長

### 自然な仕上げ

スタッコや意匠性仕上げなど厚膜型弾性塗材の塗り替えで、既存パターンを活かす自然な仕上げ（艶消し、3分艶）を実現しました。

### 優れたサーフェーサー機能

旧塗膜表面に発生したひび割れやピンホールなどを補強し、優れたサーフェーサー機能を発揮します。

### 優れた透湿性

有機系サーフェーサーをはじめ、汎用の下塗材（シーラー）と比較して高い水蒸気透過性を示しますので、塗膜の膨れを抑制します。

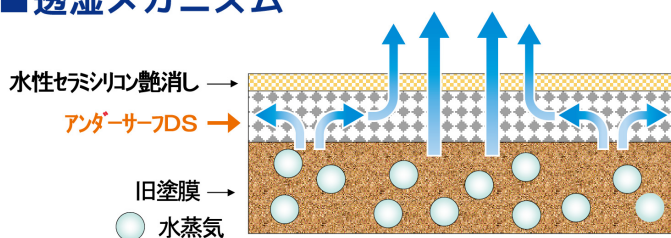
### 優れた付着性

架橋技術を用いた強靱な塗膜は、旧塗膜に対して優れた付着性を示します。

### 優れた作業性

水性のため安全で、臭気が気にならず、良好なローラー作業性を示します。

## ■透湿メカニズム



## 用途

ベルアート、ベルアートSi、ソフトスタッコ、セラミソフトスタッコなど、意匠性仕上塗材の塗り替え。特に、断熱性の高い下地（軽量モルタル・サイディングボード・ALCパネル等）に施工された意匠性仕上塗材の塗り替えに最適です。（弾性エナメル等が施工されているサイディング下地等には使用できません）

## ■ 荷姿

アンダーサーフDS

水性セラミシリコン(艶消し、3分艶)

20kg 石油缶(標準塗坪:28~40 m<sup>2</sup>/缶)

16kg 石油缶(標準塗坪:45~64 m<sup>2</sup>/缶)

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

### 《危険情報と安全対策》

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

### 《施工後の注意》

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

## ■ 標準施工仕様

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
※1 下地調整	●水洗い ・水圧を7MPa(70kgf/cm <sup>2</sup> )以下に調整し、作業を行ってください(圧力を上げすぎないよう注意)。 ・洗浄後は十分に乾燥させてください(目安:夏期1日以上、春期・秋期2日以上、冬期3日以上)。 ●戻し吹き ・旧塗膜に膨れ、剥がれ等の発生している箇所は、あらかじめその部位を除去した後、旧塗膜の同系統材料でパターン修正(戻し吹き)を行い、周辺部のパターンと合わせ、戻し吹き後は十分に乾燥させてください。							—
※2 下塗り	アンダーサーフDS	100	0.5~0.7	1~2	3以上	16以上	—	ウールローラー 刷毛
	清 水	10~15	—					
※2,3 上塗り	水性セラミシリコン (3分艶・艶消し)	100	0.25~0.35	2	3以上	—	24以上	ウールローラー 刷毛
	清 水	0~10	—					

1. 同一面で旧塗膜が膨れている箇所が多数に及ぶ場合、その面全ての旧塗膜層をケレン除去した方が良いケースがあります。詳しくは、お問い合わせください。
2. 調合比率、工程間隔時間を厳守してください。
3. 上塗材の希釈率は、色相および施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
4. 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温 5℃以下、湿度 85%以上での施工は原則的に避けてください。気温 5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を 5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
5. 塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
6. 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
7. 塗装した際には、凹部に塗料が多く残らないよう注意してください。
8. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により、増減します。
9. 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
10. 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
11. 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
12. 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、若干の色相差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
13. 艶調整品(3分艶、艶消しなど)は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所ですら艶ムラを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
14. 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。

15. 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色を塗装してください。
16. 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
17. 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異常を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行なってください。
18. シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくはもよりの各営業所までお問い合わせください。
19. 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
20. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

## 性能試験成績表

JIS A 6909 建築用仕上塗材 可とう形改修塗材 E による物性試験

試験項目		結果	品質
低温安定性		合格	塊がなく組成物の分離・凝集がない。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性		合格	ひび割れがない。
付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	標準状態	1.3	0.7以上
	浸水後	1.1	0.5以上
温冷繰返し		合格	試験体の表面に、ひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。
透水性 B法 (ml)		0.1	0.5以下
耐衝撃性		合格	ひび割れ、剥がれ及び著しい変形がない。
ひび割れ充てん性		合格	基板の溝の部分に、塗膜のひび割れ及び穴がない。
耐候性 A法		合格	ひび割れ及び剥がれがなく、変色の程度はグレースケール3号以上とする。
可とう性		合格	ひび割れがない。

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

(1608.H-3)